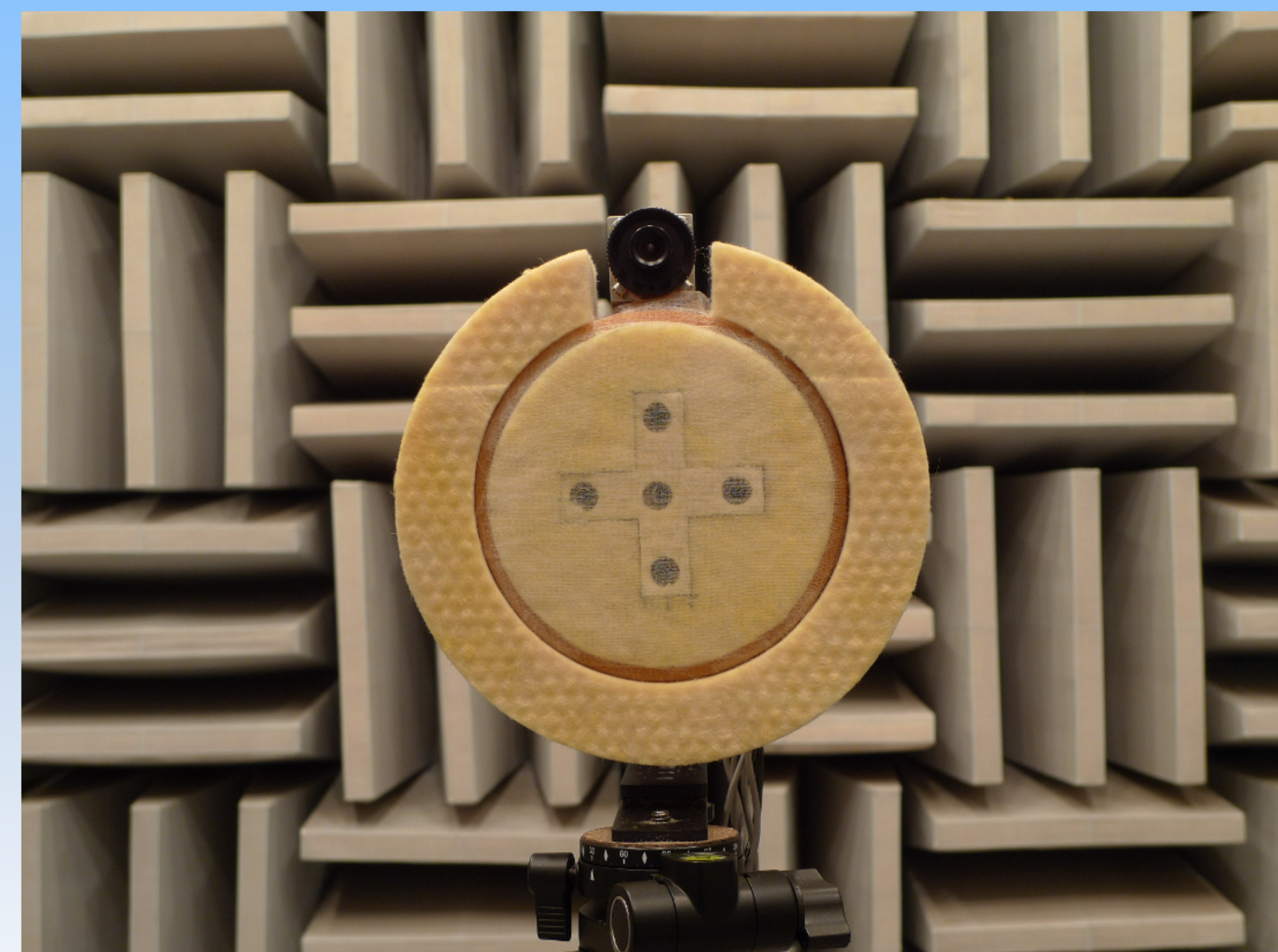


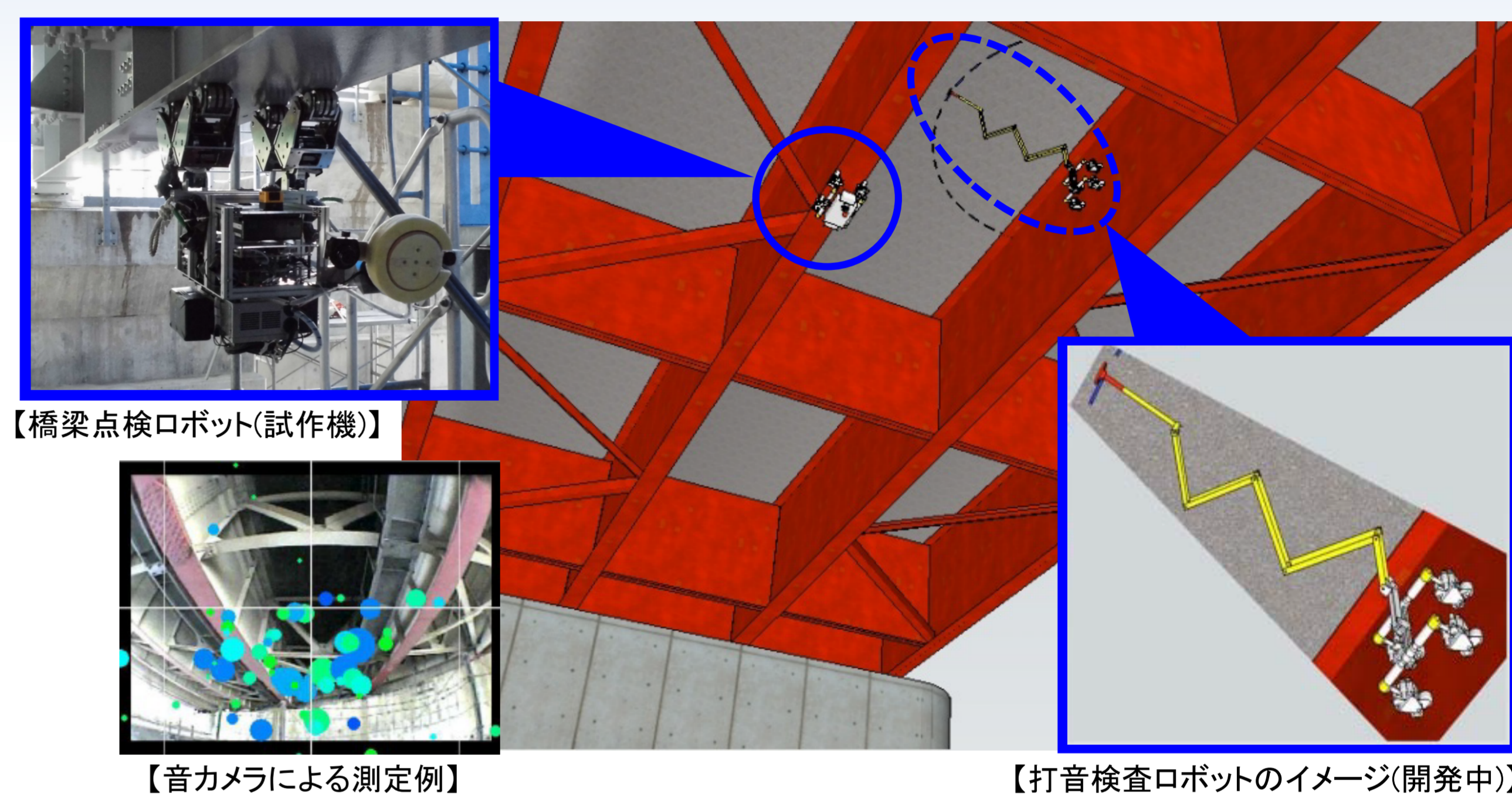
音カメラ

音の'見える化'は、 構造物の劣化診断 に役立ちます。



背景・目的

- 構造物や機械設備等の劣化部位は、音による特定が可能であるため、異音と発生位置を'見える化'する音カメラを開発しました。
- さらに、目視点検が困難な橋梁部位の点検用ロボットに、音カメラ実機を搭載することで、遠隔点検が可能となります。

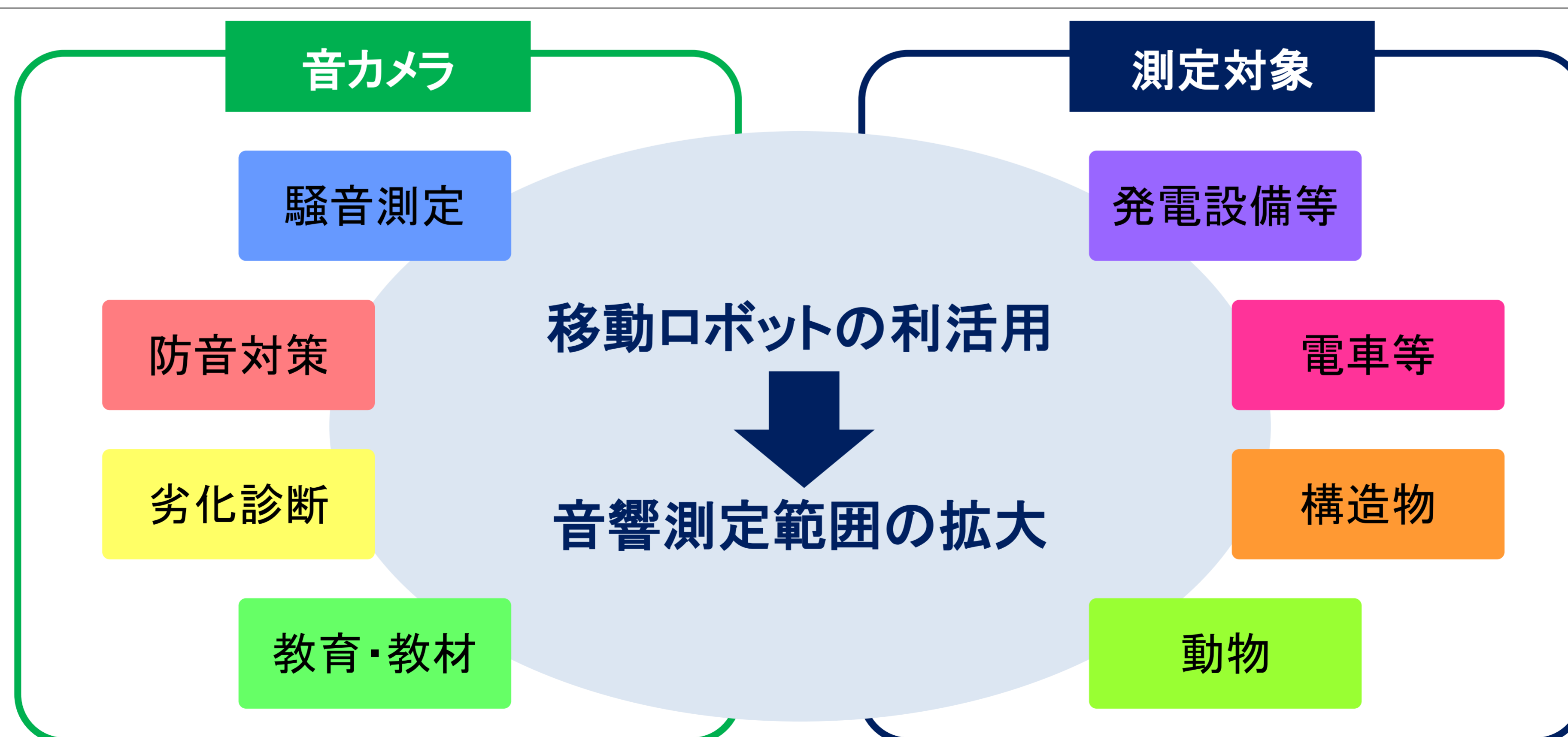


特長

- 音の発生位置が特定可能
- 音の周波数や音圧レベルの違いが測定可能
- 小型のため装置の移動・設置が容易

用途

- 発電設備、受変電設備等の騒音測定・防音対策の提案
- 電車、飛行機、自動車等の交通騒音の測定
- 構造物、機械設備等の劣化診断
- 動物の鳴き声の可視化



開発者の
ひとこと

開発当初は、橋梁の下面から調査することを想定して、カメラが向いている方向からの音を効率的に捉えられる仕様について、試行錯誤を重ねました。前方の音を捉える5本のマイクの配置や間隔、後方の音を有効に遮る円形の遮音材の材質や形状は、数えきれないほどの試作品を積み重ねて得られた最適なデザインとなっています。